

田子町子ども読書活動推進計画 (第三次)



令和 6年 2月
田子町教育委員会

目次

第1章 計画策定について 1

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の対象
- 3 計画の期間

第2章 前計画における取組の評価と課題 2

- 1 数値目標に基づく評価 2
 - (1) 家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取組の推進に関する評価 2
 - (2) 子どもが読書に親しむ機会の充実と読書活動を支える環境の整備に関する評価 . . . 3
 - (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発に関する評価 5
- 2 取組の評価と課題 6
 - (1) 家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取組の推進 6
 - (2) 子どもが読書に親しむ機会の充実と読書活動を支える環境の整備 6
 - (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発 7

第3章 基本方針 8

- 基本方針1** 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進
- 基本方針2** 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実
- 基本方針3** 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

第4章 子どもの読書活動の推進方策 9

- 基本方針1** 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進 9
 - 1 家庭における子どもの読書の機会の充実（家庭の役割） 9
 - 2 地域における子どもの読書の機会の充実（図書館等の役割） 9
 - 3 学校等における子どもの読書の機会の充実（各施設・学校の役割） 10
- 基本方針2** 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実 11
 - 1 町立図書館における環境の整備・充実 11
 - 2 施設・学校における環境の整備・充実 12
- 基本方針3** 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発 13
 - 1 子どもの読書活動に関する啓発の推進 13

第5章 計画の評価 14

1 計画の評価 14

2 評価の指針と数値目標 14

 (1) 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進に関する指針 14

 (2) 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実にに関する指針 14

 (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発に関する指針 15

3 計画の推進に向けて 15

[資料] ブックスタート・セカンドブック保護者へのアンケート結果

第1章 計画策定について

1 計画策定の趣旨

子どもの読書活動は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生を深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（子どもの読書活動の推進に関する法律第2条）であり、未来をつくる子どもたちが読書に親しみ、自主的に読書活動をするためには、社会全体で積極的な環境の整備を推進していく必要があります。

田子町では、平成24年2月・平成30年2月にそれぞれ第一次・第二次計画を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んで参りました。

また、第6次田子町総合計画において、基本目標の一つである「共に学び夢と絆を育むまちへ」の中で、教育文化分野の基本施策「笑顔あふれる仲間と学びの場をつくります」―主要施策「好奇心を刺激する学びの場の充実」―具体的施策「学習機会の充実」とし、その内容の一つに「図書館の利用促進」を掲げています。

本計画は、「青森県子ども読書活動推進計画」に基づき、社会情勢の変化や前計画における取組と課題を踏まえ、地域に根ざした子どもの読書活動を計画的に推進していくため、「田子町子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定するものです。

2 計画の対象

本計画の対象である「子ども」とは、概ね0歳から18歳までとします。

3 計画の期間

本計画は令和6年度から概ね5年間にわたる施策の基本的方向を示すものです。

第2章 前計画における取組と課題

1 数値目標に基づく評価

前計画では、計画内容の進捗状況を把握するため、指針及び数値目標を設定しています。ここではこれまでの達成状況について評価します。

※各施設 (3) …田子幼稚園、認定たっこども園、認定かみごうこども園

各学校 (5) …田子小学校、田子中学校、

清水頭小学校 (令和5年3月閉校)、上郷小学校 (令和5年3月閉校)、
田子高校 (令和4年3月閉校)

(1) 家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取組の推進に関する評価

指針1-1 図書館等とボランティアが連携して活動しているか。

<数値目標> ボランティアと連携して活動する図書館の割合

<目標値> 100% → <達成状況> 100%

図書館と読み聞かせボランティアは、定期的な図書館行事としての「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居」で、またボランティアが企画・実施した公民館講座の「親子ふれあい講座～絵本に出てくるお菓子作り教室」などで、連携して活動しました。しかし令和2年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定期的な絵本の読み聞かせと紙芝居、ボランティアとの連携行事は休止しました。その後、参加する子どもが少なくなり、絵本の読み聞かせは現在休止中です。紙芝居は令和5年度から再活動しています。



図書館 絵本の読み聞かせ



親子ふれあい講座

絵本に出てくるお菓子作り教室

指針 1 - 2 図書館による学校図書館の支援が進んでいるか。

<数値目標> 図書館と連携する学校の割合

<目標値> 100% → <達成状況> 100% (5カ所中、5カ所実施)

図書館は施設・学校と連携し、図書を貸出する団体貸出・特別貸出、「としょかんだより」配布を実施しました。また令和元年度から、田子中学校と上郷小学校の学校図書館の図書整理を始めました。令和4年度からは、清水頭小学校と田子小学校の図書整理を開始しました。令和5年度は、統合後の田子小学校と田子中学校で、学校図書館の図書整理を継続しています。

指針 1 - 3 学校と保護者や地域のボランティアとの連携が進んでいるか。

<数値目標> ボランティアと連携している学校の割合

<目標値> 100% → <達成状況> 60% (5カ所中、3カ所実施)

統合前の清水頭小学校、上郷小学校、田子小学校では、絵本の読み聞かせボランティアが連携し活動しました。令和5年度からは、統合後の田子小学校でボランティアとの連携を継続しています。田子中学校、田子高校では保護者やボランティアとの連携は未実施でした。

(2) 子どもが読書に親しむ機会の充実と読書活動を支える環境の整備に関する評価

指針 2 - 1 保護者の読み聞かせ等の大切さについての理解が進み、乳幼児期から子どもが本にふれることができる環境が整っているか。

<数値目標> ブックスタート実施率

<目標値> 100% → <達成状況> 100%

図書館では地域包括支援課と連携し、平成28年度から乳児健診時にブックスタートを、平成30年度から子ども健診時にセカンドブックを実施し、読み聞かせの大切さを伝え絵本をプレゼントしています。



ブックスタート



セカンドブック

指針 2-2 図書館が利用されているか。

<数値目標> 図書館における児童書の貸出冊数

<目標値> 8,120 冊 → <達成状況> 5,740 冊 (目標値の 70%)

目標値の考え方

	H23(2011)	H28(2016) (現在)	2021(目標値)
児童書貸出冊数	10,126 冊	8,770 冊	8,120 冊
国勢調査 0-14 歳	(H22.10) 675 人	(H27.10) 516 人	(2020) 406 人
1 人当	15.0 冊	17.0 冊	20.0 冊

	H29	H30	R1	R2	R3	R4/2022
児童書貸出冊数	6,458 冊	7,364 冊	7,365 冊	5,658 冊	6,082 冊	5,740 冊
国勢調査 0-14 歳				(R2.10) 417 人		
1 人当				13.6 冊		

過去 6 年間の児童書貸出の実績です。令和 2 年度(新型コロナウイルス感染症が流行)は児童書の貸出が減少しました。令和 3 年度には若干増加しました(貸出冊数を 5 冊から 10 冊に増加)が、令和 4 年度に再び減少しています。

指針 2-3 学校図書館の整備が進んでいるか。

<数値目標> 古い図書の除籍等、学校図書館の整備が進んでいる学校の割合

<目標値> 100 % → <達成状況> 100%

田子小学校、田子中学校では、古い図書の除籍等、学校図書館の整備が継続しながら進んでいます。



読書マラソン表彰式

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発に関する評価

指針3-1 子どもの読書活動の大切さについての保護者の意識啓発を図る取組が実施されているか。

<数値目標>各施設・学校・図書館等で、子どもの読書活動の大切さについての保護者の意識啓発を図る取組の実施率

<目標値> 100% → <達成状況> 66.6% (9カ所中、6カ所で実施)

図書館では、ブックスタート・セカンドブック時、保護者に読み聞かせをすすめました。上郷保育園（現認定かみごうこども園）では、子どもと一緒に本に親しむことの大切さを参観日に保護者へ説明し、保育士の管理の下、保護者と子どもと一緒に絵本を選んで、借りていけるよう、図書館から借り受けた絵本コーナーを玄関に設けました。

田子幼稚園、認定たっここども園では、子どもが興味を持っている絵本を保護者に紹介したり、参観日で読み聞かせを実際に見てもらったりすることで、読み聞かせの大切さを伝えました。そのほか田子幼稚園では、親子で町立図書館見学も実施しました。

田子小学校では、読書推進冊子を配布し、親子で読書に親しむ大切さを呼びかけました。清水頭小学校では、図書館利用や家での読書を参観日に呼びかけました。

上郷小学校、田子中学校、田子高校では、子どもの読書活動の大切さについて、保護者の意識啓発を図る機会を設けることができませんでした。



田子幼稚園 親子図書館見学

2 取組の評価と課題

前計画期間中における取組について、前計画の基本方針をもとに評価し、課題をあげました。

(1) 家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取組の推進

各小学校、図書館でボランティアによる読み聞かせや紙芝居が実施されました。

読み聞かせボランティアが企画・実施した公民館講座は、図書館と公民館が連携しました。

令和元年度、田子高校では田子保育園（当時）の子どもたちに読み聞かせを実施しました。

図書館では、図書館と幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高校の図書担当者が連携・協力するための会議を実施しました。

これまでのそれぞれの活動を基礎として、ボランティア・各施設・学校・図書館・公民館等が子どもの読書活動を活発にしていけるよう、連携をさらに強化していくことが課題といえます。

(2) 子どもが読書に親しむ機会の充実と読書活動を支える環境の整備

子どもが読書に親しむ機会の充実について・・・

乳幼児と保護者に向けた、ブックスタート・セカンドブックが実施されました。

幼稚園、認定こども園では日常的に絵本の読み聞かせの時間がありました。

小学校ではボランティアによる読み聞かせの時間や全校一斉読書の時間がありました。また、おすすめの本のコーナーを設置したり、図書を各学年に貸出し、様々な図書に触れる機会を作りました。

中学校では全校一斉読書の時間を設けました。長期休暇中の課題として生徒が書いた「読書紹介カード」を廊下に掲示したり、図書委員が本を紹介するポップを作成し、本とともに展示したりしました。

幼稚園、小学校、中学校では、図書館見学を実施しました。

図書館では、幼稚園、認定こども園、学校、学童保育施設、上郷公民館への計画的な団体貸出、不定期の特別貸出、「としょかんだより」配布を実施しました。特集本の展示、読書マラソン、スタンプラリー等子ども向けの行事を実施しました。蔵書検索や図書館行事をお知らせするホームページができました。

これからも子どもの読書活動を支えるために、ボランティア・各施設・学校・図書館・公民館等では、現在実施している活動を継続し、さらに読書に親しむ機会の充実を図ることが課題といえます。

子どもの読書活動を支える環境の整備について・・・

幼稚園、認定こども園、小学校、中学校では、図書館の団体貸出や県立図書館の図書セットを利用して、子どもの読書環境を充実させました。

小学校、中学校では古い図書の除籍等で学校図書館整備を実施し、読みたい本が子どもの身近にある環境づくりが進んでいます。

図書館では、分類番号の変更や、おすすめの本にラベルを追加するなど、子どもが自分で本を探しやすくなるよう、児童図書の見直しをしました。

子どもの読書活動を支える環境の整備について、学校図書館整備の継続、図書館の児童図書整備の継続と、さらなる図書の充実が課題といえます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

幼稚園、認定こども園では、参観日等で保護者に読書の大切さを伝えていきます。

小学校では、図書館利用や親子で読書に親しむ大切さを参観日に呼びかけ、読書推進冊子を配布しました。

ブックスタート・セカンドブックでは、乳幼児期から読書に親しめるような本や、子どもに読ませたい本のリスト「絵本でゆたかな親子の時間」(発行:青森県教育委員会)を活用し、読み聞かせをすすめ、保護者向けの「子育て支援コーナー」の利用を促しました。

ブックスタート・セカンドブック時に保護者にアンケートを取りました(最終ページ参照)。

4カ月の子どもの保護者は、子どもに対して「絵本の読み聞かせ」や「昔話」などをよくしていた・たまにしていた方が(45～86%)でしたが、3歳6カ月の子どもの保護者では(82～100%)と増加しました。また、子どもへの「絵本の読み聞かせ」や「昔話」への関心は高いのですが、保護者自身の読書の機会は少ないことも分かりました。

子どもと一緒に図書館を利用し、保護者自身が読書に親しむことや、読書が生活の一部となるよう導いていくことが課題といえます。

今後も、各施設・学校・図書館・関係機関等が連携し、子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発を進めていくことが課題といえます。

第3章 基本方針

子どもは、読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きるための基礎となる力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができます。

読書は、子どもが自ら考え、自ら行動し、主体的に社会に関わっていくために必要な考え方や知識や教養を身に付ける重要な契機となります。

特に、社会が急激に変化し、複雑化していく中で、個人が読書活動を通じて、生涯にわたって絶えず自発的に学ぼうとする習慣を身につけていくことは大変重要です。

このような観点から、次の基本方針の下、社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図ります。

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の充実にに向けた取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭・地域・学校において、子どもの発達段階に応じた効果的な取組を推進し、生涯にわたる読書習慣を身につけ、読書への関心を高めていけるような、読書に親しむ機会を提供する必要があります。

そのため、家庭・地域・学校のそれぞれの役割を明確にし、子どもが読書に親しむ機会の充実にに向けた社会全体での取り組みの推進に努めます。

基本方針2 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、乳幼児期から読書に親しめるような環境を身近に整えることが必要です。

そのため、町は、子どもの読書活動に資する施設、設備その他の諸条件の整備・充実に努めます。また、各施設間及びボランティア等との連携・支援を進めます。

基本方針3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、特に、保護者、教職員、保育士等子どもの成長に深くかかわる身近な大人が、読書活動に理解と関心を持つことが重要です。子どもは、絵本や昔話等の読み聞かせを通じて、また、読書をする大人の姿を見ることで読書意欲を高めていきます。

そのため、町は、子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成に努めます。

第4章 子どもの読書活動の推進方策

第3章で掲げた基本方針1～3に基づき、子どもの読書活動の推進に向けて、以下の取組を進めます。

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進

1 家庭における子どもの読書の機会の充実（家庭の役割）

子どもの読書習慣は、日常生活を通して形成されるものです。子どもが読書に親しみ、自主的に読書活動を進め、読書習慣を身に付けるために、家庭の役割はきわめて重要です。そのためには、まず、保護者自身が読書に対する理解を深め、自ら読書に親しむことが大切です。そして、子どもと共に読書の楽しさを分かち合い、家族のコミュニケーションを深め、読書が生活の中に位置づけられるような取組を推進することが大切です。

具体的な取組

(1) 家庭における読書の推進

図書館・読み聞かせボランティア・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・学童保育施設・保健福祉支援センター等との連携により、乳幼児期から絵本等に触れる機会の充実に努め、家庭での読み聞かせを推進します。

また、家族のコミュニケーションを深めることを目的として、家族で本を読み、その本について家族で話し合う「家読」^{うちどく}を推進します。

(2) 保護者に読み聞かせの楽しさなどを伝える場の提供

乳幼児健診等の際に、図書館職員が地域包括支援課と連携し、絵本の選び方や読み聞かせの楽しさなどを保護者に伝える場(ブックスタート・セカンドブック)を提供します。

2 地域における子どもの読書の機会の充実（図書館等の役割）

子どもの読書活動を推進するためには、地域の中で身近に本に親しむことができる図書館が重要な役割を果たしています。図書館は、子どもが自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。そのため、図書館において、子どもに読書の楽しさを伝え、読書活動を推進していくための様々な活動を展開していくことが望まれます。

また、日常的に子どもの読書活動についての啓発活動を行うとともに、発達の段階に応じた様々な取組を積極的に行うことなどが大切です。

具体的な取組

(1) 読書に親しむための行事・展示の実施

読書に親しむきっかけとなるような多様な行事・展示を企画実施しながら、子どもたちのニーズを把握し、サービスの充実を図るよう努めます。

(2) 読み聞かせボランティアとの連携・協力

読み聞かせボランティアは、子どもたちに本の魅力を伝える重要な存在です。図書館等において実施される、本や読書の楽しさを伝える行事、読み聞かせや紙芝居が充実するよう、ボランティア等との連携・協力を努めます。

(3) ボランティア育成

ボランティア育成のため、読み聞かせ研修会等を実施するよう努めます。

3 学校等における子どもの読書の機会の充実（各施設・学校の役割）

学校は、子どもが多く時間を過ごし、子どもの読書習慣を形成していく上で大きな役割を担っています。幼稚園・認定こども園においては、乳幼児期から読書の楽しさを知ることができるように、子どもが絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことが大切です。あわせて、保護者に対しても読み聞かせの大切さや意義を広く普及することが求められます。

また、小学校・中学校においては、児童生徒が生涯にわたって読書に親しみ、読書の幅を広げるため、読書の機会の拡充や図書の紹介、読書経験の共有により、様々な図書に触れる機会を確保することが重要です。

具体的な取組

(1) 読書活動推進

全校一斉の読書活動を推進します。幼稚園・認定こども園では継続的な読み聞かせの時間の確保を推進します。

また、図書委員会活動等、児童生徒が主体的に行動して読書活動を推進する様々な機会を設けます。

(2) 読み聞かせボランティアや町立図書館との連携の推進

児童生徒が読書に親しむために、ボランティア等と協力して読み聞かせ等の機会を設けます。また、学校図書館を活用するため、町立図書館司書と協力し、図書委員会活動時等に、図書整理や本の探し方などを教える機会を設けます。

(3) 町立図書館見学の推進

授業の一環としての町立図書館見学を推進します。一人では図書館に来ることができない子どもでも、図書館に来て多くの図書に触れることができます。図書館司書が利用のマナーや様々な図書を紹介し、図書を貸出します。

基本方針2 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実

1 町立図書館における環境の整備・充実

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、子どもが生活する地域に読書活動を楽しむ図書館があり、そこに豊富な蔵書が整備されている必要があります。

また、読み聞かせ・紙芝居等を行うボランティアは、子どもが読書に親しむ機会を提供し、子どもの読書活動の推進に関する理解や関心を広める上で、重要な役割を果たしています。

具体的な取組

(1) 図書の整備・充実

様々な年齢、生活体験、読書体験の子どもたちを考慮した、あらゆる種類の本を揃え、子どもが自主的に本を探しやすいよう整備し、提供していきます。「赤ちゃん絵本コーナー」「小学校国語教科書で紹介している本のコーナー」「ティーンズコーナー」等、子どものためのコーナーの整備と充実を図ります。また、県立図書館からの協力貸出を活用し、魅力ある蔵書を目指します。

(2) 貸出サービス体制の整備・充実

より多くの子どもの読書の機会を提供するために、幼稚園、認定こども園、学校、学童保育施設等に図書を貸出します。また、授業等で必要な図書の貸出も実施します。

(3) 図書館の情報化

おすすめの児童図書に関する情報や図書館行事の開催などを、ホームページ・広報・としょかんだより等により、積極的に住民に提供します。

(4) 多様な子どもたちのための諸条件の整備・充実

文字を読むことが難しいなど、様々な障害のある子どもの読書を支援するため、文字が読みやすくなるリーディングトラッカーや、大活字本、LLブック、布の絵本、マルチメディアダイジェスト図書などの収集を図り、PRに努めます。

(5) ボランティアとの情報共有

ボランティアが地域で活発に活動するために、ボランティアとそれを受け入れる幼稚園・認定こども園・学校・図書館等との間で、それぞれの活動内容やニーズ等の情報を、共有するよう努めます。

2 施設・学校における環境の整備・充実

幼稚園・認定こども園では、子どもが本に触れることができるスペース作り等、読書環境の整備を積極的に行うことが大切です。

学校図書館は「読書センター」としての機能と、「学習・情報センター」としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うことが期待されています。児童生徒の興味・関心に応じて、主体的・意欲的に読書や学習を行う学校図書館は、落ち着いて読書ができる、安らぎのある環境や、知的好奇心を醸成する開かれた学びの場としての環境を整えることが大切です。

学校図書館の運営に当たっては、校長のリーダーシップの下、司書教諭が中心となって、教員、町立図書館、ボランティア等が連携・協力して、それぞれの立場から学校図書館の機能の充実を図っていくことが重要です。

具体的な取組

(1) 幼稚園・認定こども園の図書に触れるスペースの整備

古くなった図書を廃棄し、絵本や図書の充実を図り、図書スペース作りに努めます。

(2) 小学校・中学校の図書資料の充実

児童生徒の知的活動を増進し、様々な興味・関心に応える魅力的な図書の整備・充実に取り組むよう努めます。また、各教科等、総合的な学習の時間、委員会活動、部活動等において多様な教育活動を展開するための図書資料の充実に努めます。

(3) 町立図書館・青森県立図書館の図書の活用の推進

授業の内容や児童生徒の実態に応じて、町立図書館や青森県立図書館の図書を活用することを推進します。

(4) 情報化の推進

図書資料をデータベース化し、図書の管理や貸出・検索などができるよう、図書館システムを小学校・中学校へ導入するよう努めます。

基本方針3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

1 子どもの読書活動に関する啓発の推進

「子ども読書の日」(4月23日)及びこの日から5月12日までの「こどもの読書週間」は、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられました。これらの週間や、保護者が集まる参観日等、あらゆる機会に次の取組を行います。

具体的な取組

(1) 啓発の推進

施設・学校、図書館では、子どもの健やかな成長に対する絵本の影響力や、子どもと本を結びつける読み聞かせ活動の効果について、保護者に知らせ、理解を深める機会を提供するよう努めます。

図書館では「子ども読書の日」の趣旨にふさわしい取組を実施するよう努めます。

取組をさらに広げていくために、幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・図書館・ボランティア・そのほか関係機関との連携を図りながら、より充実した啓発活動が展開されるよう働きかけていきます。



田子小学校 図書館見学

第5章 計画の評価

1 計画の評価

計画期間における計画内容の進捗状況を把握するために、数値目標を設定し評価します。

2 評価の指針と数値目標

田子町における子どもの読書活動の推進に関する評価のための指針と数値目標は、青森県の指針と数値目標を参考に、次のとおりとします。

なお、数値目標は、子どもの読書活動の推進に必要と考えられる施策を行う上での取組の目安として掲げるものであり、その達成を義務づけるものではありません。

(1) 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進に関する指針

指針1-1 保護者の読み聞かせ等の大切さについての理解が進み、乳幼児期から子どもが本にふれることができる環境が整っているか。

<数値目標>ブックスタート実施率

<目標値> 100%

指針1-2 施設・学校で子どもの読書に親しむ機会の充実に向けた取組が進んでいるか。

<数値目標>学校一斉読書活動及び継続的読み聞かせの実施率

<目標値> 100%

(2) 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実にに関する指針

指針2-1 町立図書館が利用されているか。

<数値目標>図書館における子ども一人当たりの児童書の貸出冊数

<目標値> 12.0冊

目標値の考え方

	H29(2017)	R4(2022)現状値	R9(2027)目標値
児童書貸出冊数	6,458冊	5,740冊	4,308冊
※0-18歳	(H30.3) 647人	(R5.3) 509人	(R9.3) 359人
1人当	10.0冊	11.3冊	12.0冊

※住民記録システム

指針 2-2 図書館とボランティアが連携して活動しているか。

<数値目標>ボランティアと連携して活動する図書館の割合

<目標値> 100%

指針 2-3 図書館による学校図書館の支援が進んでいるか。

<数値目標>図書館と連携する学校の割合

<目標値> 100%

指針 2-4 学校と保護者や地域のボランティアとの連携が進んでいるか。

<数値目標>ボランティアと連携している学校の割合

<目標値> 100%

指針 2-5 学校図書館での効果的な蔵書管理が進んでいるか。

<数値目標>学校図書館における図書情報のデータベース化実施率

<目標値> 100%

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発に関する指針

指針 3-1 子どもの読書活動の大切さについての保護者の意識啓発を図る取組が実施されているか。

<数値目標>各施設・学校・図書館等で、子どもの読書活動の大切さについての保護者の意識啓発を図る取組の実施率

<目標値> 100%

3 計画の推進に向けて

計画の推進に当たっては、設定した数値目標について毎年度図書館が実施する調査等によって進捗状況を把握し、計画を着実に推進していくよう努めます。

4か月児の保護者へのアンケート

- これまで、お子さんに対して「絵本の読み聞かせ」や「昔話」などをしていましたか?(%)

	H30/23名	R1/25名	R2/20名	R3/16名	R4/21名
・よくしていた	22	28	25	12	57
・たまにしていた	26	24	20	38	29
・したことがない	52	48	55	50	14

- これから、お子さんに対して「絵本の読み聞かせ」や「昔話」などをしてみようと思いますか?

	H30	R1	R2	R3	R4
・続ける	35	48	40	44	81
・始めてみたい	57	48	60	50	19
・少し興味がある	4	4	0	6	0
・しないと思う	4	0	0	0	0

- 自分自身は、本をよく読みますか?読書は好きですか?

	H30	R1	R2	R3	R4
・よく読む	35	20	10	18	14
・好きだけど最近読んでいない	35	44	35	44	62
・ほとんど読まない	30	36	55	38	24

- 図書館利用者

	H30	R1	R2	R3	R4
	22	20	15	6	29

3歳6か月児の保護者へのアンケート

- これまで、お子さんに対して「絵本の読み聞かせ」や「昔話」などをしていましたか?(%)

	H30/10名	R1/23名	R2/24名	R3/22名	R4/20名
・よくしていた	20	31	54	32	50
・たまにしていた	80	65	46	50	35
・したことがない	0	4	0	18	15

- これから、お子さんに対して「絵本の読み聞かせ」や「昔話」などをしてみようと思いますか?

	H30	R1	R2	R3	R4
・続ける	50	83	96	68	80
・始めてみたい	50	13	4	23	10
・少し興味がある	0	4	0	9	10
・しないと思う	0	0	0	0	0

- 自分自身は、本をよく読みますか?読書は好きですか?

	H30	R1	R2	R3	R4
・よく読む	10	26	37.5	23	20
・好きだけど最近読んでいない	10	26	25	32	25
・ほとんど読まない	80	48	37.5	45	55

- 図書館利用者

	H30	R1	R2	R3	R4
	0	17	21	27	15